

ご寄付ありがとうございました

本会にお寄せいただいた寄付金は、寄付者のご希望に添った事業の推進等に大切に使用させていただきます。

寄付者（令和7年9月～令和7年11月）（五十音順）

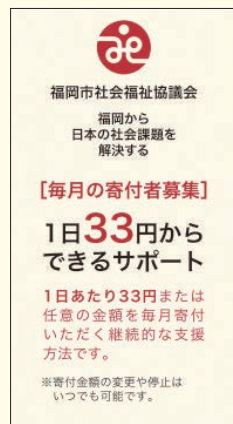
※「寄付つき商品事業」覚書締結企業様

個人		団体	
打越 耕治 様	真崎 恵美子 様	株式会社円満シニアサポート 様	日蓮宗 本興寺 様
王 神 様	森本 太郎 様	あそびの館さわら南 様	福岡住宅流通サービス有限会社 様
小野 弘美 様	山田 雅夫 様	株式会社QTnet 様 ※	
李 煒 様	山本 年雄 様	特定非営利活動法人 長寿命化建物推進協会 様	
久田 翔太 様			

（このほか、匿名等で多くのご寄付をいただきました）



▲株式会社円満シニアサポート様



※詳しくは、福岡市社会福祉協議会のホームページをご覧ください。

「活動報告会2025」を開催しました

令和7年11月17日(月)に、日頃よりご寄付を通じ福岡市社協を応援してくださっている皆さまをご招待し、「活動報告会2025」を開催しました。

今年度は、令和7年4月にオープンした「五福の家」を会場とし、「五福の家」にゆかりのある2名にお話いただきました。報告会終了後は見学会を実施し、皆さまからのご支援により、「五福の家」が多くの方が集う居場所として運営していることを報告する機会となりました。

今後も、福岡市社協を応援してくださっている皆さまと一緒に、社会課題の解決に向けた取り組みを進めてまいります。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



▲大庭氏(福岡福祉向上委員会(カフェ五福の家))の講話の様子



▲柴田氏(NPO法人青少年の自立を支える福岡の会)の講話の様子

赤い羽根共同募金会からのお礼

共同募金運動につきましては、令和7年度も多くのご協力をいただきました。お寄せいただいた募金は、配分審査委員による審査を経て、令和8年度の福岡市内の校区社会福祉協議会の活動費として、また、福岡市・区社協や福祉団体の事業費として配分し、大切に活用させていただきます。

なお、募金の使いみちは、共同募金会ホームページでもご覧いただけます。

今後とも、皆様の温かいご支援をよろしくお願いいたします。

【お問合せ】 福岡県共同募金会福岡市支会 ☎092-720-5350

共同募金会福岡市支会
ホームページはこちら➡



ご利用
ください

本紙「ふくしのまち福岡」は、本会ホームページ（<https://fukuoka-shakyo.or.jp>）で公開しています。また、朗読 CD も配布しております。お気軽にお問合せください。

企業が取り組む地域貢献活動

地域福祉活動において、企業や福祉施設、事業所など多様な主体との協働した取り組みは、市内全域に広がっています。今回は、地域が取り組む買い物支援や、子ども食堂への食材寄贈を行なっている企業の事例を紹介します。

「あったらいいな」をかなえた買い物支援

坂の途中に住宅が広がる東区青葉校区の青葉台・土井団地2区集会所では、月に1回青果などの臨時販売が行なわれています。この地域では、購入した商品を持ち運ぶことが難しいという住民の声を受け、特別養護老人ホームなごみの里・つくしの里が協力し、施設の車両で集会所から自宅まで送迎を行なっています。

また、障がい者支援施設たいようの里、原土井病院が、会場の設営、片付けや購入商品の袋詰めなどのサポートを行なっています。

地域住民と地域の事業所相互で顔の見える関係をつくりながら、地域住民の生活を共に支えています。



▲買い物を終えて、車に乗る様子

地域に寄り添う企業から子どもたちへあたたかなご支援

「企業×子ども ふくふくお届け便」では、地域の企業などから寄せられた食材等を子ども食堂につなぐことで、地域の子どもの未来をそっと支えています。

創立100周年を迎えたある企業が、「地域への恩返し」として本取組みに参加し、子ども食堂への食材寄贈を新たに始めました。「地域に根ざし、あたたかく寄り添う企業でありたい」との思いが、支援の原動力となっています。

子ども食堂からの、価格高騰でお米の確保に悩む声に応え、お米を寄贈したところ、「本当に助かった」「子どもたちがお腹いっぱいになった」と喜びの声が届いています。



↑「企業×子ども
ふくふくお届け便」
詳しくはこちらまで



災害ボランティアセンター 設置・運営訓練を実施しました！



▲ボランティアの受付をしている様子

福岡市社協は、学校法人福岡工業大学（東区）と福岡市との三者間で「福岡市災害ボランティアセンター設置に関する協定」(*)を締結しています。

協定に基づき、身近な地域で災害が発生した場合に、いち早く復旧・復興の支援につなげるため、令和7年10月7日に福岡工業大学で、災害ボランティアセンター(以下、災害VC)の設置・運営訓練を実施しました。

福岡工業大学では、地域住民を対象とした「地域防災人材育成プログラム」を実施しており、この訓練には大学の教職員、社協職員、行政職員に加え、プログラム受講者にも参加を呼びかけ、合計75名が参加しました。

訓練では、ボランティア受付から活動場所へ送り出すまでの流れを確認したうえで、地域住民や大学教職員がボランティア役となり、被災地での活動に従事するまでの疑似体験を行ないました。実際の流れをシミュレーションすることで、運営役・ボランティア役の双方が効率的な動線の確保や、必要な備品などを確認することができました。

参加者からは、「災害ボランティアは初対面の人が協力して活動するので、活動を統括するリーダーの役割が大きいとわかった」「地元の道路事情に精通した地域住民が災害VC運営に協力してくれると心強い」といった声が聞かれました。

(※)「福岡市災害ボランティアセンター設置に関する協定」
福岡市で大きな災害が発生した際、被災者へのボランティア支援の拠点となる災害VCの設置場所に関する協定です。現在、市内4つの大学（学校法人西南学院、学校法人都築学園、学校法人福岡工業大学、学校法人福岡大学）と協定を締結しています。



▲ボランティアから活動後の報告を受けている様子

福岡市母子福祉会芙蓉基金「ひとり親家庭等福祉振興助成事業」の助成団体を募集します

【対象】

市内で活動する社会福祉分野の団体等が実施するひとり親家庭等を支える地域づくりに資する事業や調査・研究事業などを対象にしています。

【助成金額】

事業に要する経費の9割の範囲内とします。
助成金の上限額は、当事者や住民が中心となって取り組む事業は単発事業10万円、継続事業15万円、調査・研修事業は30万円です。

【お問い合わせ】

地域福祉課 ☎092-791-6339
※申請には、その他要件がございます。まずはお電話にてお問い合わせください。

【申込み】

地域福祉課または各区社協事務所窓口で配布する申込書に必要書類を添えて、郵送もしくは持参でお申し込みください。

(令和8年1月13日(火)から配布)

①第1次募集:令和8年1月13日(火)
～3月31日(火)《必着》

②第2次募集:令和8年4月1日(水)
～9月30日(水)《必着》

福祉の現場で働く皆さま、一緒に研修に参加しませんか！

福岡市社協では、市内の福祉職従事者向けに、さまざまな研修を実施しており、毎年多くの方が参加しています。

研修案内は、ホームページのほか、メーリングリストやSNSにおいても随時発信しています。

令和8年度の研修実施計画をホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

今後も、福祉の現場で働く方々のお役に立てるような研修を実施します。皆様のご参加をお待ちしております。

(福岡市社協主催研修)

階層別研修	新任職員Ⅰ、新任職員Ⅱ、中堅職員 リーダー(指導的職員)
課題別研修	接遇、人権、メンタルヘルスケア、相談援助、 福祉レクリエーション、救急法 等



▲令和7年度「リーダー(指導的職員)研修」の様子

【お問い合わせ】総務課(研修担当) ☎092-751-1121



注目の1冊

買い物難民対策で 田舎を残す

(岩波ブックレット No.1033)
(村上 稔 著／岩波書店)

買い物難民対策で
田舎を残す



食糧の確保と自立は
最大のライフライン
高齢者や障害者から地域暮らし、
社会貢献の仕事は大変だけれど楽しい！
岩波書店

商店やバス路線の減少、単身高齢者の増加、地域の人間関係の希薄化など、さまざまな要因で買い物難民問題は今後さらに深刻化することが予想されます。

本書では、長年買い物支援に携わってきた著者が、その現状や今後の課題について紹介します。

【お問い合わせ】
福祉図書・情報室 ☎092-731-2946